

大腸がんについて

①

大腸がんとは？

◆大腸（結腸・直腸・肛門）の内側を覆う粘膜に発生するがん。

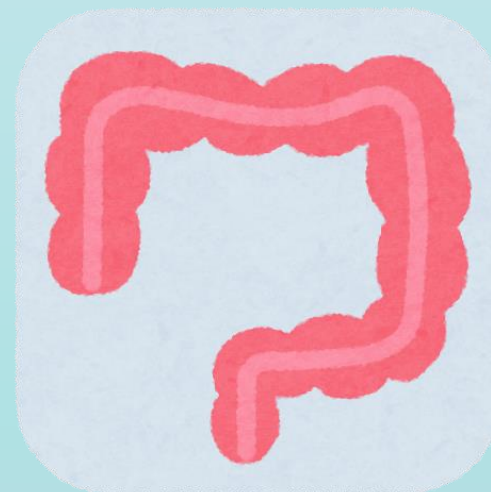
どのようにして出来るの？

- ◆ポリープ（いぼのようなもの）から変化するもの
- ◆正常な粘膜から直接発生するものがある。

症状は？

- ◆血便（便に血が混じったもの）
- ◆下血（血の色や赤黒い便が出る）
- ◆肛門の痛み
- ◆繰り返される下痢や便秘
- ◆便が細い

など



しかし、早期の段階では自覚症状はほとんどありません。

大腸がんの現状

2

がん罹患数（がんになる人数）の順位（2019年）

	1位	2位	3位	4位	5位
総数	大腸	肺	胃	乳房	前立腺
男性	前立腺	大腸	胃	肺	肝臓
女性	乳房	大腸	肺	胃	子宮

がん死亡数（がんで死亡する人数）の順位（2021年）

	1位	2位	3位	4位	5位
総数	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
男性	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	乳房	胃

男性がん死亡数
2位

女性がん死亡数
1位

国立がん研究センター がん情報サービスより

大腸がんになる人、大腸がんで死亡する人は、上位を占めています。

◆大腸がんは早期であればほぼ100%、進行がんでもがんが遠位の臓器やリンパ節へ転移・浸潤していなければ80%以上治癒できます。

◆症状が出る前の段階で発見するためには

定期的な「大腸がん検診」の受診

が重要です。



大腸がん検診の方法

◆便潜血検査

- ・ 検診方法の中でも、最も簡単な検査です。
- ・ 大腸がん死亡率を減少させることが科学的に認められています。
- ・ 便潜血検査が陽性になった場合は、必ず精密検査を受けて下さい。

対象年齢

- ◆40歳以上の方

検診間隔

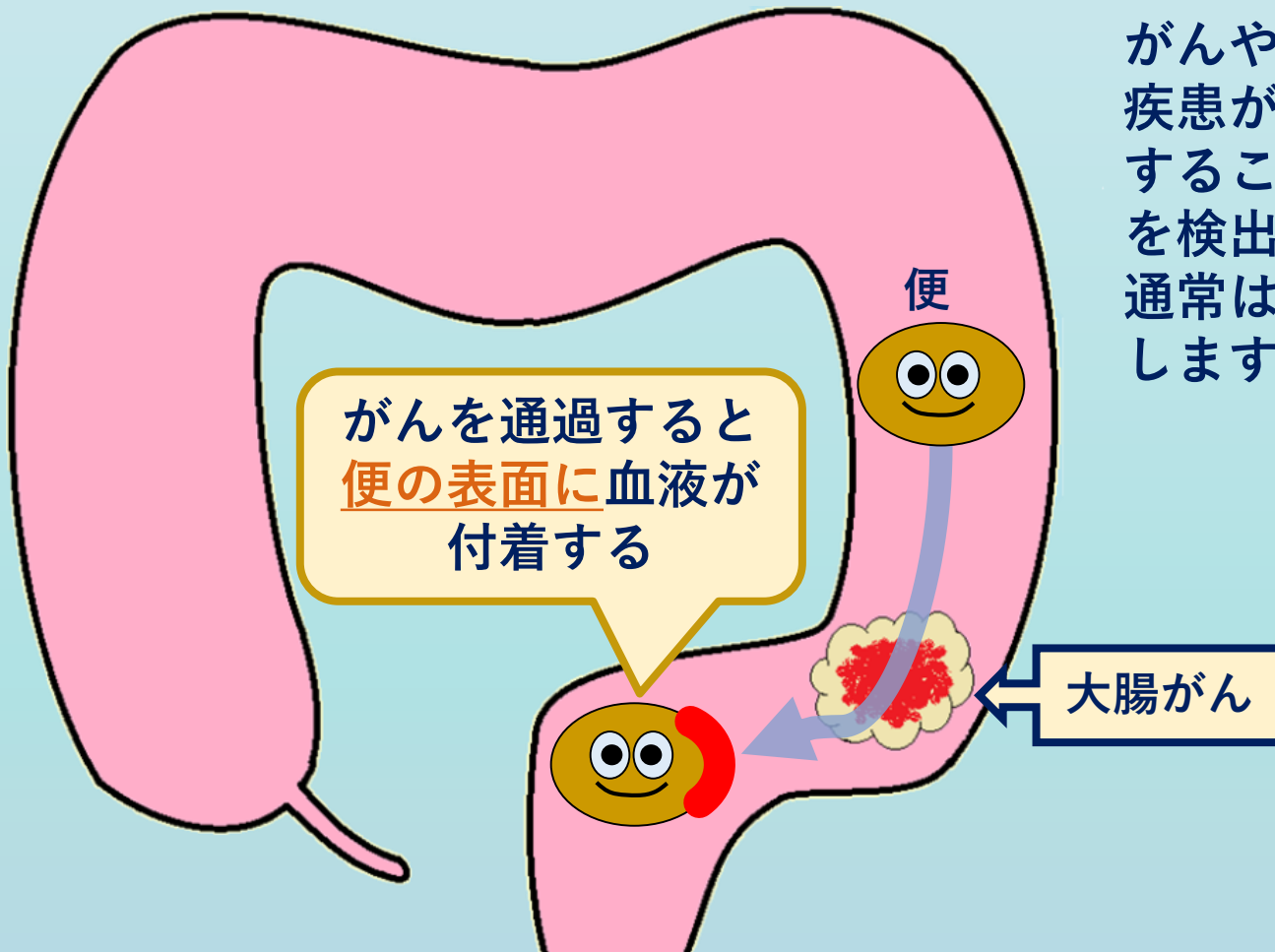
- ◆年1回



便潜血検査

5

便潜血検査とは？



がんやポリープなどの大腸疾患があると大腸内に出血することがあり、その血液を検出する検査です。通常は、2日間分の便を採取します。

便の採取方法

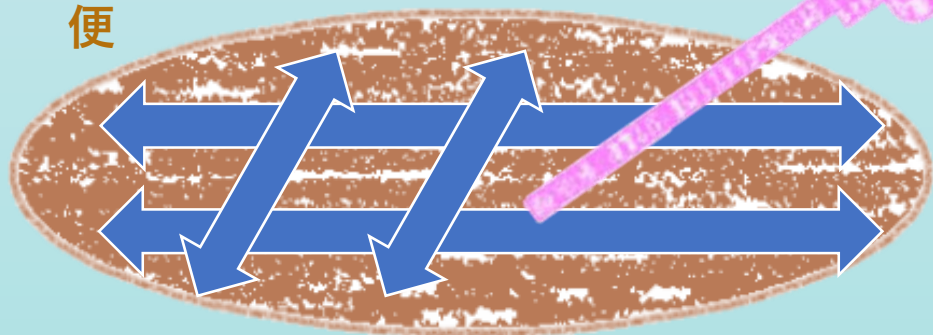
6

便の採取方法

- ◆ 便の表面を採便スティックでまんべんなく擦り取ります。
- ◆ 便全体から採取できるように複数回繰り返します。

採便スティック

便



適量はスティックの溝が埋まる程度

多すぎる

×



適量

◎



少なすぎる

×



便の正しい取り方について、詳しい動画はこちらのQRコードよりご確認ください。

便潜血検査が陽性の場合

7

◆ 便潜血検査が陽性になった場合は、
必ず精密検査を受けて下さい。

◆ 便潜血検査の再検査は精密検査ではありません。



◆ 大腸がん検診の一般的な精密検査は
「大腸内視鏡検査」 です。



当センターの大腸内視鏡検査

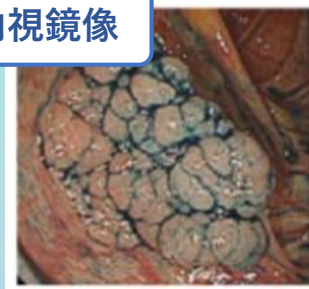
8

- ◆ 下剤や洗腸液で大腸を空にした後に、安定剤を使用し全大腸（直腸から盲腸まで）を内視鏡（カメラ）で観察します。
- ◆ がんやポリープなどの病変の有無を確認します。
- ◆ 小さな病変は外来で切除することが可能です。

検査・治療実績（令和3年度）

◇大腸内視鏡検査	約4000件
◇大腸ポリープ切除	約1500件

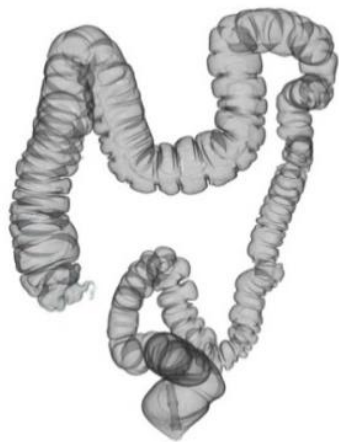
内視鏡像



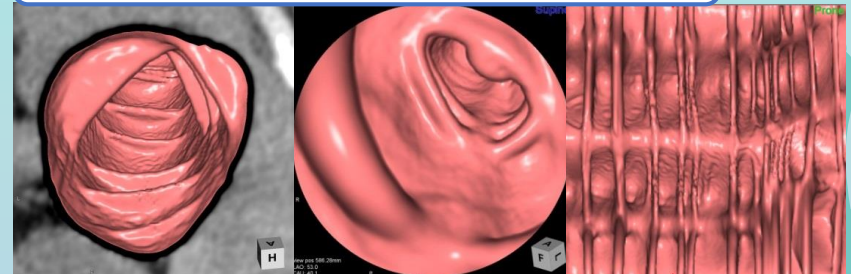
大腸CT（CTコロノグラフィ）

- ◆ 大腸を炭酸ガスで膨らませてCT撮影を行い、画像処理を行うことで内視鏡や注腸X線検査に似た画像が得られる検査方法です。
- ◆ 洗腸液を使用しますが、内視鏡に比べて少量（約10分の1）です。
- ◆ 検査時間はおよそ10分～15分程度と短時間です。

仮想注腸像



大腸CT仮想内視鏡像・仮想大腸展開像



注腸X線検査

- ◆ 治療が必要な病変を認めた場合、より詳細な検査として実施することがあります。
- ◆ 大腸にバリウムと空気を注入してX線撮影を行います。
- ◆ 検査を行う際には肛門からチューブを挿入し、造影剤であるバリウム、次いで空気を注入して大腸を膨らませます。



注腸X線像

